

併願について

1 本学の入学試験における併願について

【医学部】

◎一般選抜入試(I期)とセンター利用(B方式)を同時に出願することができます。

選抜入試(I期)

+

センター利用
(B方式:地域別選抜)

◎同時出願時の書類について

入学願書	調査書	コンピュータ登録カード	受験票送付用封筒
2部	2部	1部	1部

◎同時出願する場合、出願締切はセンター利用入試出願期間の平成30年1月11日(木)郵送必着です。

◎別々に出願することもできますが、それぞれ書類を用意して出願期間内に出願してください(コピー不可)。

◎歯・薬・保健医療学部と併願はできますが、同時出願はできませんので、別々に書類を用意して出願してください。

【歯学部・薬学部・保健医療学部】

◎一般選抜入試(I期)と大学入試センター利用(A方式:I期)と大学入試センター利用(B方式)は、最大7試験区分7学部7学科を同時に併願することができます。

選抜入試(I期)

+

センター利用
(A方式:I期)

+

センター利用
(B方式:地域別選抜)

1学部1学科のみ

5学部5学科希望選択
志願順位も記入

1学部1学科のみ

◎同時出願時の書類について

入学願書	調査書	コンピュータ登録カード	受験票送付用封筒
出願する学部学科分 (最大7枚)	出願する学部学科分 (最大7枚)	1部	1部

◎センター利用(A方式:I期)は複数学部学科の選択も可能ですが、同時出願した場合のみ併願可能ですのでご注意ください。

◎同時出願する場合、出願締切は、センター利用試験出願期間の平成30年1月11日(木)郵送必着です。

◎医学部と併願はできますが、同時出願はできませんので、別々に書類を用意して出願してください。

【歯学部のみ】

◎一般選抜入試(II期)とセンター利用(A方式:II期)を同時に出願することができます。

選抜入試(II期)

+

センター利用
(A方式:II期)

◎同時出願時の書類について

入学願書	調査書	コンピュータ登録カード	受験票送付用封筒
2部	2部	1部	1部

2 面接について（医学部以外）

◎選抜入試（Ⅰ期）とセンター利用（A方式：Ⅰ期）、歯学部を選抜入試（Ⅱ期）とセンター利用（A方式：Ⅱ期）を併願する場合
選抜入試の試験場・時間割で実施します。

面接試験は、選抜入試時の面接試験結果は併願している全ての入試の判定に使用します。

◎センター利用（A方式）のみの出願で複数併願した場合

第1志望学部学科の大学入試センター試験利用入試（A方式：Ⅰ期）の試験場・時間割で実施します。

面接試験は、全てのセンター利用入試（A方式：Ⅰ期）の判定に使用します。

◎センター利用（B方式）を併願で出願した場合

面接試験は平成30年2月11日（日・祝）に行い、選抜入試（Ⅰ期）とセンター利用（A方式：Ⅰ期）の面接の評価とは別に判定します。

3 合否判定・結果・入学手続について

◎出願されたすべての試験区分の学部・学科ごとに合否判定をしますので、併願した場合はそれぞれに合格・不合格の結果が出ます。

ただし、併願受験者の入学手続は、1学部1学科のみとします。

◎また、入学手続完了後、歯・薬・保健医療学部間での繰上合格があり、その入学手続を行う場合は、納入済みの入学時納入金を、繰上合格学部学科として充当します。また、充当した際の過不足分につきましては、支払い・返金の手続きがございますので、詳細は合格後に郵送される入学手続書類をご確認ください。

4 保健医療学部理学療法学科の第2希望制度

選抜入試（Ⅰ期・Ⅱ期）で理学療法学科を志願した場合、第2希望として作業療法学科を選択できます。

◎願書に「作業療法学科を第2希望とする」を選択してください。

◎入学検定料は理学療法学科の入学検定料のみとなります。

◎試験は理学療法学科として受験し、その結果を作業療法学科の判定に使用します。

◎理学療法学科の合格基準を満たさず、作業療法学科の合格基準を満たした場合、作業療法学科の合格とします。

5 併願ができない試験区分について

◎推薦入試は単願かつ専願のみです。

◎歯学部編入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）、保健医療学部看護学科編入学試験は単願のみです。

◎医学部と他の歯学部・薬学部・保健医療学部は併願できますが、同時出願することができませんので、別々に書類を用意して出願してください。